



神石小だより

神石高原町立神石小学校

学校だより7月号

令和8年7月13日

山・海・島体験活動

6月号でもお知らせしましたが、5月28日（木）・29日（金）の2日間、5年生が「山・海・島」体験活動に行ってきました。7月号ではその様子を少し詳しく紹介します。

1日目



SAFプログラム



ウォークラリー



キャンプファイヤー

2日目



壁掛けづくり



ホットドック作り



巡回演奏会

7月3日（金）、ギタリストの莊村清志さんに来校いただき、巡回演奏会を行いました。「千と千尋の神隠し」など演奏していただき、素敵な音楽に触れる時間となりました。



プール開き

子供たちが楽しみにしていたプール開き。6月2週目に無事行うことができました。泳力が伸びるよう、児童一人一人に目標をもたせ、コース別指導を行っています。



校外学習

1年生は校外学習でいすみ保育所の園児と一緒にトマト選果場へ行きました。説明を聞いたり、機械や作業を見せてもらったりして、神石のトマトってすごいと関心をもっていました。



おりづる集会

7月7日（火）おりづる集会を行いました。児童会役員が企画を考え、図書委員会が読み聞かせをし、千羽鶴を折りました。折った鶴は8月20日（木）に3名の代表児童が平和公園に献呈に行きます。



寺田校長の広聴・高調コミュニティ広場

今年度から「じんせきっ子 すばらしいで賞」という表彰をしています。年に一度、全員の子供たちのすばらしいところを全校児童の前で表彰し、本人の良さをほめたたえとともに、一人一人の良さを全校の子供たちにも広めようというものです。右の写真は、私の手作りのメダルで、「すばらしい」にちなみ、真ん中に折バラを付けています。駄洒落ですね。



神石高原中学校区では、児童生徒に身に付けさせたい資質・能力を三つ設定しています。「主体性」「コミュニケーション能力」「アイデンティティ」です。この度の「じんせきっ子 すばらしいで賞」は、「アイデンティティ」に関わります。「アイデンティティ」とは自己認識のことで、自己を形成するもの、例えば、夢や目標、長所・短所、得意・不得意、家族、地域のよさなど、自分に影響を与えるものを自身が認識していることです。そして、これらのものが自分の将来決定や夢の実現のためのエネルギー源になるのです。自分の良いところがわかると、うれしくなります。そして、これからの自信につながります。

さて、先日、第1回の「じんせきっ子 すばらしいで賞」を行いました。当然のことながら、一人一人の素晴らしいところは違います。今回表彰した子供たちの素晴らしいところは、「困っている人を手伝うやさしさ」「気づいて行動する力」「友達をフォローする力」「思いやりの心」「自ら行動する力」「周りのことを考えた行動力」でした。こうしてみると、神石小の子供たちは心のやさしい子が多いことが分かります。保護者や地域の皆様に育てていただいていることがよくわかります。やさしい心、相手を思いやる心が育つと、お互いの信頼や力が伸びていきます。38人全員で神小を盛り上げられるよう、職員一同、指導に力を入れてまいります。これからあと32人の子供たちの良さを全校児童に広める機会を設定していきます。ほめて伸ばす教育を学校でも家庭でも地域でも共有できたらと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



夏休みの登校日について

8月 6日（火） 8時15分いつも通り登校 11時15分いつもの方法で下校

8月22日（土） 7時30分保護者の方と登校 10時保護者の方と下校

※7月29日（水）午前は研修、8月12日（水）～14日（金）は一斉閉庁日、8月25日（月）は振替休業日のため、学校に教職員はいません。

急を要する連絡がある場合は、神石高原町教育委員会（89-3341）へお願いします。



いじめ、体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口について

神石小学校に相談窓口を設置しております。児童や教職員に関して相談の窓口を設けています。小さな事でもご相談ください。

担当は、高橋教頭・里道生徒指導主事・宮本養護教諭です。